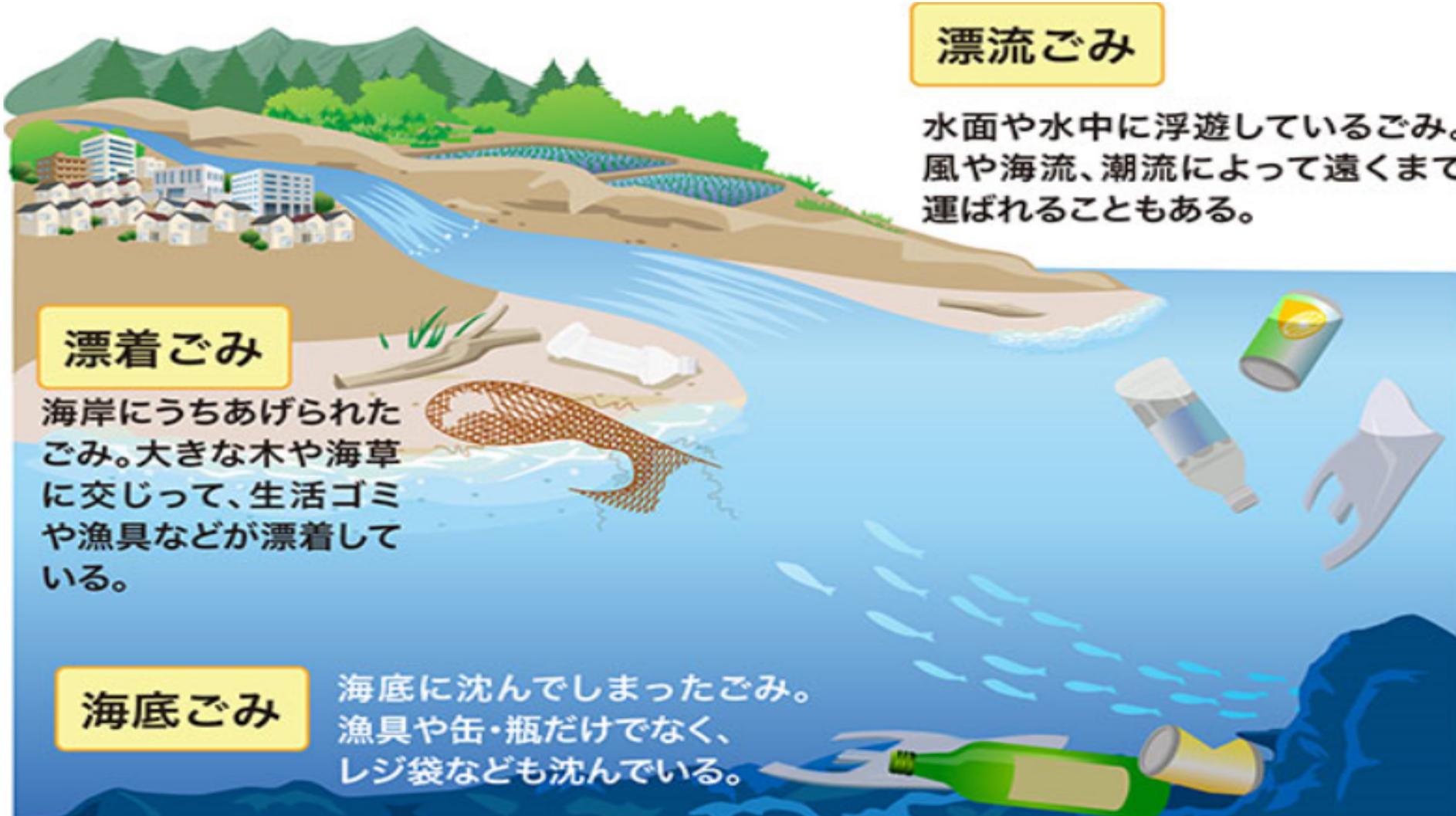


第9回SDGs研究会

海洋プラスチックゴミ～大気中マイクロプラスチックゴミへ



漂流ゴミ

水面や水中に浮遊しているゴミ。風や海流、潮流によって遠くまで運ばれることもある。

漂着ゴミ

海岸にうちあげられたゴミ。大きな木や海草に交じって、生活ゴミや漁具などが漂着している。

海底ゴミ

海底に沈んでしまったゴミ。漁具や缶・瓶だけでなく、レジ袋なども沈んでいる。

SECTION 世界では解決すべき様々な問題

日本では毎年のように起きる水害、いつ起こるかわからない地震、経済格差、性差別様々な問題。世界では日本で考えられない問題多い。

◎環境問題

- 気球温暖化の進展 ●水問題の深刻化
- 自然災害の増加エネルギー問題の深刻化 ●生物多様性の喪失
- 気候変動の激化 など

◎社会問題

- 貧困●感染症の流行 ●教育機関の不平等 ●様々な差別とハラスメント
- 少子高齢化・人口爆発 ●紛争の長期化・複雑化 など

◎経済問題

- 経済危機の頻発 ●経済格差の拡大 ●社会福祉財源の不足
- 雇用なき都市化の進行 ●若年失業率の高さ など

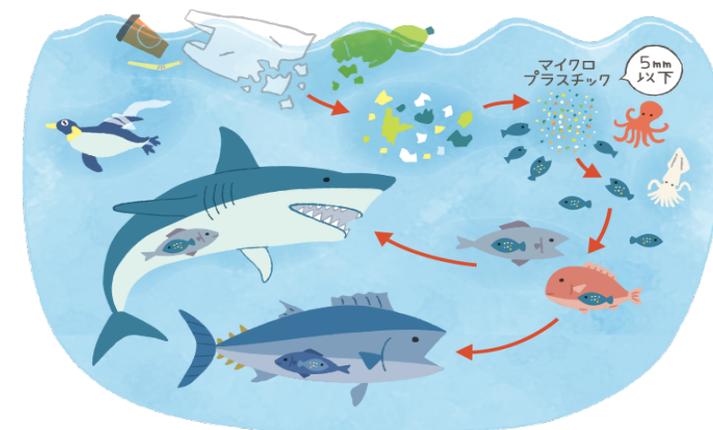
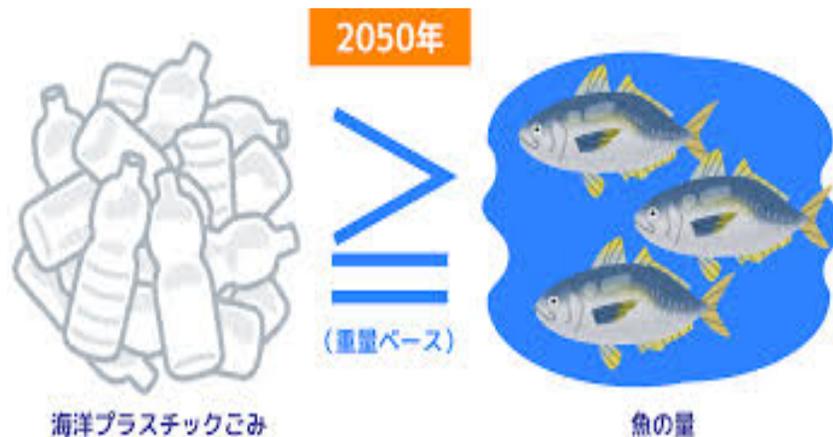
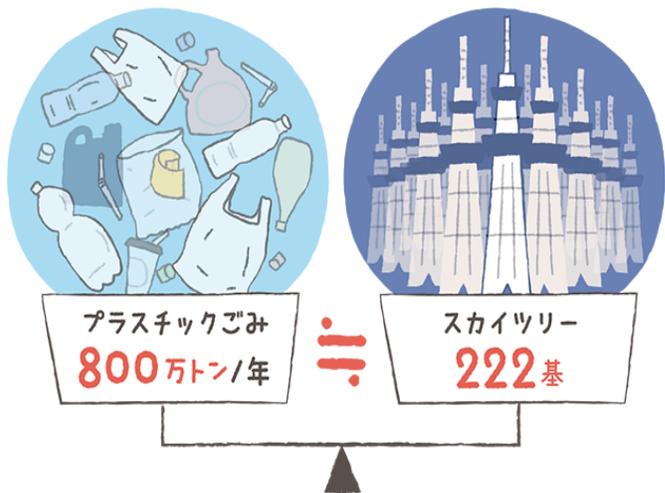
この問題を放置すると「持続可能な開発」はできなく、
世界は立ち行かなくなる。



山のごみが海へ流出



これが現実プラスチック汚染



海洋プラスチックを考える前に 大切な3つの前提

『いのちの環』139号 14P～

磯部篤彦九州大学応用学研究所教授

17ページ

①地球の広さは無限では無いと認識する事。

分解するのに数百年から数千年要するプラスチック

②海岸に漂着したプラスチックゴミなどによる環境汚染問題

本来なら子供、孫が楽しむ空間を奪うな

③生態系を含む全てに生存の権利を与える

P19

※プラスチックごみが海洋生物に与える影響「誤食」

①誤食 ②絡まり ③外来生物の輸送 ④汚染物質の輸送

大気中を漂うプラスチック「AMPs」

早稲田大学理工学術院 大河内 博教授

大気中に浮遊するプラスチックを命名 (Airborne microplastics)

○大気中に浮遊マイクロプラスチック

国内で新宿・カンボジア・富士山頂で発見。

AMPs 影響三つのリスク

①健康リスク

飲食→体内=排出で基本的問題でない。呼吸により肺の奥に蓄積が問題

②温室効果ガスの発生

プラスチックの分解は水中より数十倍速いと研究結果。自由対流圏大気に温室効果ガス。

③水の環境に影響

大気中マイクロプラスチックが雲の発生量や雲粒の成長過程に影響、地球全体の水の分布。循環に影響。

SDGs 17のゴール

一番身近に気軽に取り組めるのが「ポイ捨てごみ」を拾う

14 海の豊かさを
守ろう



14：海の豊かさを守ろう

- 海洋の保全に取り組む項目で近年、注目されるのが、プラスチックの海洋流出問題。
- マイクロプラスチックの流出減となっている。
- 2050年までに海洋プラスチックが魚の重量を超える可能性。

11 住み続けられる
まちづくりを



11：住み続けられる街づくりを

- 街がゴミだらけになると、美化や衛生の観点から快適な生活ができなく、環境に重大な影響を及ぼす可能性。
- 快適で安全な街の維持の為、小さな一歩、ゴミ拾い

12 つくる責任
つかう責任



12：つくる責任つかう責任

- ごみも大切な資源。無駄なくリサイクルリユースを促進、廃棄物の削減へ。
- ポイ捨てゴミには、缶、ペットボトル、プラスチック素材のフィルム等リサイクルで生まれ変わるものも。

ゴミが自然界で分解される時間

ガラス製のボトル	100万年
モノフィラメントの釣り糸	600年
プラスチック製の飲料ボトル	
紙おむつ	450年
アルミ缶	80年から200年
発泡プラスチックブイ	80年
ゴミ長靴の底	50年から80年
発泡プラスチックカップ	50年
ブリキ缶	50年
皮革	50年
ナイロンの生地	30年から40年
プラスチックフィルム容器	20年から30年
ビニール袋	10年から20年
タバコのフィルター	1年から5年
ウールの靴下	1年から5年
ベニヤ板	1年から3年
ワックス加工牛乳パック	3か月
リンゴの芯	2か月
新聞紙	6週間
オレンジ&バナナの皮	2から5週間
ペーパータオル	2から4週間

品目別漂着ゴミ個数（環境省「漂着ゴミ対策総合調査検討業務」より）

順位	品目	個数（％）	素材
1	ボトル、キャップ、ふた	15.5	プラスチック
2	ロープ	15.5	プラスチック
3	木材（物流用パレット木材含む）	8.1	木
4	ペットボトル、2 L	5.1	プラスチック
5	シートや袋破片	4.3	プラスチック
6	ウレタン	4.3	プラスチック
7	荷造りバンド/ビニールテープ	4.0	プラスチック
8	食品容器（食器/トレイ/調味料容器）	3.7	プラスチック
9	ヴィ	3.3	プラスチック
10	その他	2.9	プラスチック
11	ストロー・フォーク・スプーン・マドラー・フォーク	2.7	プラスチック
12	流木	2.7	木
13	プラボトル、2 L	2.6	プラスチック
14	食品容器（カップ）	2.5	発泡スチロール
15	アナゴ筒（ふた/筒）	2.3	プラスチック
16	ポリ袋	2.1	プラスチック
17	その他漁具	1.9	プラスチック
18	カキ養殖用コード	1.7	プラスチック
19	ライター	1.7	プラスチック
20	発泡スチロール破片	1.7	発泡スチロール

※調査地点 太平洋から日本海、瀬戸内、海岸傾斜15度から45度、清掃活動行われてない砂浜海岸。

SDGs宣言でゴミ拾い



2021年11月

株式会社 創美 SDGs宣言書

SDGsが掲げる目標達成に向け、下記のとおり宣言いたします

SDGsとは、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。「誰一人取り残さない」世界の発展に向け、2030年までに達成すべし17の目標と、169のターゲットが定められています。

取り組みテーマ	具体的な取り組み	SDGs目標
サステナブル プリント ～持続可能な印刷～	自然由来の安い材料を使用した印刷物の提供に努めます。 【主な取組】 - FSC認証製品の利用 - 株式会社米の印刷インクの利用	12 責任ある消費と生産 13 気候変動への対応 15 陸の生態系を守る
未来につなげる	自社の事業活動において、環境に配慮した行動に努めます。 【主な取組】 - 社内電気のLED化、エコカー導入によるCO2削減 - 再生可能エネルギー比率が高い、売電業者からの調達 - 緑化活動	7 再生可能エネルギー 13 気候変動への対応
地域との パートナーシップ	従業員、取引先や関係企業などにSDGsを啓蒙し、地域住民・企業との連携によりSDGsの取組を実現してまいります。 【主な取組】 - 「創美サステナブルブック」の配布 - 社内でSDGs研修の継続実施	17 パートナーシップの推進



SECTION 02 世界では解決すべき様々な問題

日本では毎年のように起きる水害、いつ起こるかわからない地震、経済格差、性差別様々な問題。世界では日本で考えられない問題多い。

◎環境問題

- 気球温暖化の進展 ●水問題の深刻化
- 自然災害の増加エネルギー問題の深刻化 ●生物多様性の喪失 ●気候変動の激化など

◎社会問題

- 貧困 ●感染症の流行 ●教育機関の不平等 ●様々な差別とハラスメント
- 少子高齢化・人口爆発 ●紛争の長期化・複雑化 など

◎経済問題

- 経済危機の頻発 ●経済格差の拡大 ●社会福祉財源の不足
- 雇用なき都市化の進行 ●若年失業率の高さ など

この問題を放置すると「持続可能な開発」はできなく、
世界は立ち行かなくなる。

SECTION SDGsは17からなる地球規模の達成

国連が採択、2030年までに共通の目標達成がSDGs。

内容を理解する前に、SDGs 17の目標の確認。目標を見ると世界が解決すべき課題が見える。

SDGsウェディングケーキモデル

スウェーデン人の環境学者ロックストロームさんとインド人の環境経済学者スクデフさんによって提唱

